

静岡県呼吸器外科医会 第19回集談会抄録集

日 時：平成20年1月19日

場 所：静岡県男女共同参画センター あざれあ

当番世話人：梅本琢也

特別講演：司会 梅本琢也

独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター
感染症研究部長 鈴木克洋

『結核最近の話題—結核予防法の廃止・感染症法への統合も含めて—』

セッション I 司会 高橋 毅 藤枝市立総合病院 心臓呼吸器外科

1. 画像上大部分が脂肪濃度を呈した後縦隔奇形腫の1例

静岡県立総合病院 呼吸器外科 岡田 直, 広瀬正秀, 石橋洋則, 太田伸一郎
病理検査科 鈴木 誠
放射線科 谷尾宜子, 中島信明

症例は16歳女性。学校検診で胸部異常陰影を指摘され、胸部単純 CT で左横隔膜に接して大部分が脂肪濃度を呈し一部に石灰化を含む腫瘤を認めた。胸部 MRI 像では、T1WI・T2WI ともに高信号で、造影効果は認めなかった。この後縦隔腫瘍に対し診断・治療目的で手術を施行した。病理所見で成熟奇形腫と診断された。後縦隔発生の成熟奇形腫というまれな症例を経験したので報告する。

2. 気管支嚢胞の2切除例

浜松医科大学 第1外科
井口恵介, 板谷 徹, 望月孝裕, 高持一矢, 鈴木一也

症例1：72歳，女性。気管分岐下の嚢胞性病変に対し，心膜を切開し左房後面の嚢胞を切除した。内腔は多列線毛上皮で覆われ，壁内に軟骨組織，気管支腺を認め，心嚢内気管支嚢胞と診断した。症例2：17歳，女性。胸腺内の嚢胞と食道壁に連続する嚢胞を切除した。いずれも内腔は多列線毛上皮で覆われ，気管支嚢胞と診断した。心嚢内気管支嚢胞および気管支嚢胞の重複発生は比較的まれであり，文献的考察を加え報告する。

3. 気胸を発症した若年女性の巨大肺嚢胞の一例

県西部浜松医療センター 呼吸器外科
清水 恵, 船井和仁, 佐々木一義, 粕木 茂

症例は35歳，女性。検診で右巨大肺嚢胞を指摘され，当科で経過観察していた。10月，海外旅行時の飛行機内で右胸部の違和感を自覚し，6日後に当科を受診して右気胸の診断で入院となった。胸腔鏡下に肺嚢胞を切除した。一般に巨大肺嚢胞に気胸が合併する頻度は低いとされ，巨大肺嚢胞，気胸ともに男性に多いとされている。今回は若年女性に巨大肺嚢胞が認められ，気胸を起こした稀なケースであり，文献的考察を加えて報告する。